



並木中等story

令和3年1月20日号

経験しないと分からない世界がある！

ある研究者から聞いた話です。仮説をもとに研究を進めていても、実際は必ずと言っていいくらい異なる結果が出る。やってみないと分からないということです。課題探究を進めている生徒の皆さんもこのような経験はあると思います。そこで、“やってみましょう”ということになります。経験しないと分からないのです。

今年度は中止になってしまったウォークラリーも歩く前と後では見方が変わります。60km歩くという大変だなと思うでしょう。しかし、60kmを歩いた後では別の素晴らしさを感じていると思います。研修や修学旅行もそうです。行く前は“何か気が重いな”と思う人もいるかもしれません。しかし、戻った時は満足感が自分自身を支配している人が多いのではないのでしょうか。部活動でもそうです。参加した生徒に聞くと、インターハイや関東大会に出てみないと感じられない世界もあるといいます。私はインター



ハイにも関東大会にも選手としては出ていませんが、監督や役員として何回か参加しました。参加生徒に聞くと、“雰囲気は全然違う”“自分自身のモチベーションの持ち方も全然違う”といいます。結果は惨敗でも、“この雰囲気を味わえただけでも出場できて良かった”と話します。皆さんはどんな経験がありますか。より多くの経験を続けてください。それによって得られるものは、皆さんを変えているはずです。

祝 《高文連自然科学部研究発表会》 ポスター部門/口頭発表物理部門最優秀賞を受賞

高文連自然科学部主催の研究発表会が開催され、5年次の鶴見さんがポスター部門と口頭発表物理部門で最優秀賞を受賞しました。また、口頭発表物理部門優秀賞を5年次角野さんと北野さんが受賞しました。鶴見さんと角野さんは来年度開催予定の和歌山総文祭の県代表に決定しました。おめでとうございます。